

# 電

## 源立地地域対策交付金事業

### のお知らせ

市は、電源立地地域対策交付金を活用し、さまざまな事業に取り組んでいます。  
今回は、交付金の内容や平成25年度に行った事業を紹介します。

エネルギー施策の一つです。発電用施設の設置や運転の円滑化を図るため、電源地域の市町村で行われる公共施設の整備や、地域住民の福祉の向上を図るための地域活性化事業に対して交付されます。

発電所や発電用のダムなどの発電用施設が所在する市町村とその周辺の市町村のことです。また、ダムや貯水池、貯水池の水を利用した発電所ダム下流の河川などが、発電用施設に該当します。

#### 『電源立地地域対策交付金とは』

#### 『電源地域とは』

#### 『平成25年度の取り組み』



①栗山ふるさとサマーウォークの様子



②高畑運動広場敷地内の四阿



③ALTによる授業風景

電源立地地域対策交付金は、国の

交付金の対象となる電源地域とは、

- ①栗山ふるさとサマーウォーク実行委員会への補助事業(500万円)  
栗山地域で開催しているウォーキングイベント、栗山ふるさとサマーウォークの事業費の一部を実行委員会に補助しました。
- ②高畑運動広場四阿・トイレ整備事業(500万円)  
高畑運動広場敷地内の四阿とトイレを整備しました。
- ③小中一貫教育における英語教育事業(4,860万円)  
小中一貫教育として、市内全域で

#### 発電用施設一覧

発電所名	所在地	発電所名	所在地
葛蒲ヶ浜	中宮祠	栗山	黒部
日光第一	日光	鬼怒川	鬼怒川温泉滝
日光第二	匠町	川治第一	川治温泉川治
赤沢	萩垣面	竹之沢	鬼怒川温泉大原
所野第一	所野	中岩	高德
所野第二		川治第二	藤原
所野第三		沢入	群馬県みどり市
塩谷	塩谷町船生	足尾	足尾町
道谷原		今市(揚水)	佐下部
風見	塩谷町風見山田	今市第二(揚水)	
川俣	川俣	今市第三(揚水)	

※隣接市町の発電所も日光市へ交付される交付金額の算出対象になります

英語指導助手(ALT)および臨時指導助手を活用し、小中学校の英語教育事業を実施しました。  
くわしくは  
総合政策課 政策調整係  
☎(21)5131

# 仕事と生活 どっちも大切

～ワーク・ライフ・バランスという働き方～

くわしくは 人権・男女共同参画課 男女共同参画推進係 ☎21-5148

#### ◆ワーク・ライフ・バランスとは

長時間労働を前提とした従来の働き方を見直し、仕事と生活の調和を図りながら、男女がともに能力を發揮し、全ての人々が心豊かに暮らしていくことです。

#### ◆ワーク・ライフ・バランスのメリット

残業時間が減り、余暇時間が増えること心も体も健康になります。また、家庭参画や職場以外の人との交流、読書、自己研さんにも時間が充てられ、結果的にそれらを仕事に生かすことができます。  
ワーク・ライフ・バランスは、生活だけを大切にするのではなく、仕事と生活の相乗効果(シナジー効果)を図ります。

#### ◆長時間労働の問題点

- ①コストの増加：残業時間が増えること、人件費や光熱費、社会保険料などのコストが発生し、賃金不払い残業が増加する恐れがあります。
- ②業務効率低下、労災事故の発生：長時間労働が続くと集中力が低下し、業務効率の悪化や思わぬ事故が発生する可能性が高くなります。
- ③健康障害の危険性：長時間労働は

疲労やストレスの蓄積につながり、心身の不調を引き起こす原因になります。心身の不調は労働者本人だけの問題ではなく、安全配慮義務など、事業主側の重要な問題となっています。

#### ◆日本社会における大きな課題「少子高齢化問題」

高齢者の増加に伴い、事業主は仕事をしながら介護をしている人の両立支援を行う必要があります。また、労働力人口が減少すると、女性の潜在労働力の活用が必要不可欠になります。そのため、出生率の向上と女性の継続就業が両立できる制度の整備が必要です。

#### ◆大量介護時代に備えて

働き方を柔軟に変えることにより、女性の社会参加を大幅に増やし、労働参加率を上昇させることが必要です。

また、男性の働き方を見直すことにより、親の介護など家庭参画の時間を増やすことが、ますます大切になっています。

#### ◆働く女性を応援

先日、税収減により破綻する可能性が高い自治体の中に、「日光市」が含まれているという衝撃的な報道がありました。税収を増やすためには、働き手となる若者の職場確保、さらに出生率を上げることが最も大切です。また、不足していく労働力を補うため、人口の半分を占める女性の社会進出が期待されています。受け皿となる企業側にも、この問題を正しく理解し、支援体制を整備していくことが求められています。

子育て、介護、家事、地域行事などを夫婦や子ども、家族みんなで協力分担し、一人一人がバランスのとれた「自立」を目指し、日光市を10年後も持続可能なまちにしていきたいでしょう。



人権・男女共同参画課 狐塚明子副主幹